



保育所・保健相談所・児童館などが連携して、子育てをサポート ～「第12回石神井・大泉地区子育ての輪」を開催～

と き 10月29日（火） 午前10時～午後3時

ところ 石神井公園区民交流センター（石神井町2-14-1）

29日、石神井公園区民交流センターで「石神井・大泉地区子育ての輪」が開催され、約300人の親子連れで賑わった。子育ては家庭だけでなく、地域社会で見守るとの視点から、石神井・大泉地区の子育て関係施設である区立保育園、児童館、学童クラブ、保健相談所、子育ての広場「ぴよぴよ」や病児・病後児保育施設「ぱるむ大泉」が連携して毎年実施し、今回が12回目の開催。

小麦粉粘土や手作りおもちゃ等を使った遊びコーナーは子どもたちに大人気。健康や歯の相談コーナー、離乳食の作り方や食事の相談コーナーなどが設けられ、育児に関するさまざまな悩みや相談に、保育士、歯科衛生士、栄養士をはじめとする専門の職員が直接応じていた。

5か月の子どもを連れての方は「保育園や離乳食の情報があるということで参加した。保育士の方にいろいろ相談できてよかった」と話した。2人の子どもと一緒に来場した方は「毎年来ている。遊びのスペースがたくさんあって、子どもも喜んでいる」と話した。

区担当課は「子育て相談や親子の交流の場を提供することで、子育て世帯を支援していきたい」と語った。



ぴよぴよコーナー



離乳食の試食

【子育ての輪】

子育ての輪は、「子育て世帯が子育てのことを気軽に相談できる保育園でありたい」という区立保育園長の発案をきっかけに始まったもので、平成7（1995）年から光が丘地区で、さらに14年からは石神井地区で毎年開催している。本イベントは、核家族化などの進行により、孤独感をもつことが多いといわれる子育て世帯にとって、仲間づくりの場としての側面も併せ持っている。11月14日には光が丘地区の子育て関係施設が一体となって開催する「子育ての輪」が行われる。

【地域全体で子育てをサポート】

練馬区には60か所の区立保育園があり、各保育園で地域との交流事業を行っている。例えば、園庭開放やふれあい給食などの事業を通して、地域の親子が保育園に来園する機会を作り、仲間作りのお手伝いや子育てに関する相談を受け付けている。

また、区立保育園のほかに、児童館、学童クラブ、保健相談所および幼稚園や保育園に通っていない乳幼児の交流の場である子育ての広場「ぴよぴよ」ならびに病児・病後児保育施設「ぱるむ大泉」があり、地域全体で子育てを支援する体制を作っている。

【当日の様子】

この日は、約300人の親子が石神井区民交流センターを訪れ、自分のお気に入りのおもちゃですつと遊んでいる子どもや、担当職員の話をももしながら熱心に聞いている母親の姿など、大変なにぎわいを見せていた。

子ども同士と一緒に遊び始めると、そこから保護者同士の会話も生まれ、次第に家での遊ばせ方や食事のとりらせ方など、子育ての情報交換も盛んに行われるようになっていった。

【問い合わせ】教育委員会事務局こども家庭部保育課保育所係 電話 03-5984-5842